

第2 令和5年度事業報告

1 第55回（令和5年度）総会概要

日 時： 令和5年6月13日（火） 午後1時30分～午後3時30分

開催方法： オンライン会議（Zoom） [ホスト：事務局]

出 席： 82大学（122名） ※入会申込 1大学（2名）

欠 席： 14大学（委任状の提出有り）

（次第）

1. 会長挨拶

神戸市外国語大学 芝 勝徳 図書館長

2. 講演

以下の演題でご講演いただいた。

- ・「大学図書館に関する最近の動向」

文部科学省研究振興局 参事官（情報担当）補佐 吉田 雄介 氏

- ・「公立大学の現状と課題」

一般社団法人公立大学協会 事務局長 中田 晃 氏

3. 議事（要録）

会長（芝 勝徳 神戸市外国語大学図書館長）を議長に選出（会則第13条により）

議長から、出席状況及び会員総数の過半数を超える出席があるため、当総会は議事を開き議決することができること、議決の際は出席会員の過半数をもって行うが、事前に欠席の申し出のあった全館より委任状が提出されており、いずれも議長に委任されていることが報告された。

[報告事項]

（1）令和4年度事業報告

前会長館（愛知県立大学）から、会報第54号に基づき総会並びに拡大役員会での協議事項、改革実施小委員会での検討事項について報告があった。

（2）HP委員会報告

委員長館（大阪公立大学）から、会報第54号に基づき改革実施小委員会から依頼のあったホームページの見直しを行ったこと及び今年度からサーバ管理委託先が変更になったとの報告があった。

（3）地区協議会活動報告

時間の都合により会報第54号の地区活動報告の記載をもって報告に代えることで了承された。
なお、補足や追加報告を行う地区協議会はなかった。

（4）関係委員会等報告

時間の都合により会報第54号の各委員会報告の記載をもって報告に代えることで了承された。
なお、補足や追加報告を行う委員会はなかった。

（5）その他

特になし

[協議事項]

(1) 公立大学協会図書館協議会入会図書館について

会長館から旭川市立大学の入会申込について説明があり、入会が承認された。

承認後、旭川市立大学図書館信木館長より挨拶があった。

また、会長館が資料により未加盟館への勧誘について作成した入会案内（案）の説明があり、意見等があれば別途いただきたい旨の発言があった。

(2) 役員の選出について

会長館から資料により説明があり、原案のとおり承認された。説明の概要は以下のとおり。

- ・令和6年度は、北海道・東北地区の福島県立医科大学で内定しており、令和7年度については中国・四国地区の岡山県立大学を内定する。
- ・令和6年度の総会開催館については、会長館である福島県立医科大学が担当する予定である。

(3) 関係委員会委員等の推薦について

会長館から資料により説明があり、原案のとおり承認された。説明の概要は以下のとおり。

- ・改革実施小委員会での検討の後、「著作権検討委員会」を北九州市立大学が、「これからの学術情報システム構築検討委員会」を札幌医科大学が担当することとなった。
- ・愛知県立大学、公立はこだて未来大学は、本年度も引き続き担当する。
- ・来年度の委員については、役員の協力を得ながら会長館が調整を行う。

(4) 令和4年度決算報告

前会長館（愛知県立大学）から資料により決算報告を行い、原案のとおり承認された。

(5) 令和4年度監査報告

前監査館（金沢美術工芸大学）から資料により監査報告を行い、原案のとおり承認された。

(6) 令和5年度事業計画（案）について

会長館から資料により、①会議及び委員会等活動、③渉外活動について説明があった。④地区協議会活動については各地区協議会代表館へ計画等の報告を依頼したが、特に発言はなかった。⑤出版については、会報第55号のPDF形式での発行及び公立図書館概要の集約・公開方法について説明があり、原案のとおり承認された。②研修活動については別途協議することとした。

(7) 令和5年度予算（案）について

会長館から資料により以下の説明があり、原案のとおり承認された。

【会則の変更（会費を徴収しないこと）】

- ・令和2から4年度、コロナ禍で支出縮小が見込まれたこと及び繰越金問題の協議が継続的に行われてきたことから、会則の附則に追記記載することで会費徴収は行わなかった。
- ・本年度も繰越金削減を促進するため、前年度までと同様に附則に追加記載することで会費徴収を行わないことを提案する。

【予算（案）】

- ・予算（案）は、会費を徴収しないことを前提に作成したものを提案する。
- ・収入は、会費収入0円、前年度繰越金、雑収入を合わせて2,364,891円を計上している。
- ・支出は、事業費80万円、事務費8万円、計88万円を一般経費としている。事業費について

は、拡大役員会で承認を得た 60 万円から 80 万円に増額されているが、そのうち研修費について予算額を 10 万円としていたところ、大学図書館短期研修へ 3 大学から参加申請があり、旅費と 4 日間の宿泊費を見込んで 30 万円に変更したことによるものである。その他、会議費、報償費は会議のオンライン開催に伴い 0 円としている。事務費は前年度と同額を予算計上。今年度より HP 保守管理業者が変更となり、年間経費の約 18 万円を諸活動費に含む。また、前会長館から、国公立大学図書館協力委員会の分担金辞退の旨、引継を受けている。収入合計から一般経費を減じた 1,484,891 円を予備費としている。

※承認後に会長館から以下の発言があった。

本協議会の会費については繰越金問題の協議を行い令和 2 年から 5 年間暫定的に 25,000 円とすることを附則に記載しているが、同年からコロナ禍による支出縮小が見込まれることから、会費の徴収を行わないことを附則に追記している。暫定的な会費減額期間は来年度で終了するので、令和 7 年度以降の会費については会則第 19 条（会計）の改正も含めて、次期会長館と検討を始めたと考えている。

（8）大学図書館職員短期研修への派遣について

会長館から資料により、東京大学で開催される短期研修（対面実施）の概要と、地区協議会代表館を通じて受講希望のあった 3 大学（札幌医科大学、福山市立大学、北九州市立大学）の説明があり、各大学所属職員（計 3 名）への補助金の支給が承認された。

（9）会議関係諸規程改正等について

会長館から資料により説明があり、「会長は、会議（総会・役員会）を対面のほか、オンライン会議システム、電子メール等の電子的手段のいずれかの方法により招集することができる。」とする会則の改正について原案のとおり承認された。また、前年度第 2 回拡大役員会で承認済みの会議関係諸規程の改正についても了承を得た。

（10）改革実施小委員会の設置について

会長館から資料により、前年度に開催された第 5 回改革実施小委員会の協議内容及び委員会の継続設置について説明があり、原案のとおり承認された。

承認後、会長館より、副会長館（滋賀県立大学）、次期会長館（福島県立医科大学）のほか、大阪公立大学、横浜市立大学の参加を予定している旨の発言があった。

（11）その他

特になし。

4. その他

・次期会長館挨拶

福島県立医科大学 総務課学術情報室長 奥寺 洋暁 氏

※挨拶の中で、会則の改正が承認されたことを受け、令和 6 年度の総会はオンライン方式で開催したいとの会長館としての意向が示された。

以上で、第 55 回（令和 5 年度）公立大学協会図書館協議会総会を終了した。

2 会議及び各種委員会等活動

1. 公立大学協会図書館協議会令和5年度役員会（神戸市外国語大学）

ア 第1回拡大役員会

日 時： 令和5年5月16日（火） 午後1時30分～午後3時30分

開催方法： オンライン会議（Zoom）〔ホスト：事務局〕

出 席： 25大学（35名） 内、役員館18大学（28名）

欠 席： 2大学 内、役員館はなし

（次 第）

○報告事項

- | | |
|----------------------------|------------------|
| (1) 令和4年度事業報告 | 【前会長館：愛知県立大学】 |
| (2) HP委員会報告 | 【大阪公立大学】 |
| (3) 地区協議会活動報告 | 【各地区協議会代表】 |
| (4) 関係委員会等報告 | 【各関係委員会委員】 |
| (5) 第55回（令和5年度）総会の開催について | 【会長館】 |
| (6) 第56回（令和6年度）総会の開催方法について | 【次期会長館：福島県立医科大学】 |
| (7) その他 | |

○協議事項

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| (1) 公立大学協会図書館協議会入会大学について | 【会長館】 |
| (2) 役員の選出について | 【会長館】 |
| (3) 関係委員会委員等の推薦について | 【会長館】 |
| (4) 令和4年度決算報告及び監査報告 | 【前会長館：愛知県立大学】 |
| (5) 令和5年度事業計画（案）について | 【会長館】 |
| (6) 令和5年度予算（案）について | 【会長館】 |
| (7) 公立大学協会図書館協議会会則の一部変更について | 【会長館】 |
| (8) 大学図書館職員短期研修への派遣について | 【会長館】 |
| (9) 会議関係諸規程の改正等について | 【会長館】 |
| (10) 改革実施小委員会について | 【会長館】 |
| (11) その他 | |

※報告事項(6)の「第56回（令和6年度）総会の開催方法について」は、会議関係諸規程の改正等の承認後に報告いただいた。

イ 第2回拡大役員会

日 時： 令和5年12月19日（火） 午後1時30分～午後3時30分

開催方法： オンライン会議（Zoom） [ホスト：事務局]

出 席： 25大学（32名） 内、役員館13大学

欠 席： 1大学

（次 第）

○報告事項

- | | |
|--------------------------|------------------|
| (1) 令和5年度事業報告（総会以降） | 【会長館】 |
| (2) HP委員会報告 | 【委員長館：大阪公立大学】 |
| (3) 地区協議会活動報告 | 【各地区協議会代表】 |
| (4) 関係委員会等報告 | 【各関係委員会委員】 |
| (5) 第56回（令和6年度）総会等日程について | 【次期会長館：福島県立医科大学】 |
| (6) 改革実施小委員会の状況について | 【会長館】 |

○協議事項

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) 令和6年度以降の役員の選出について | 【会長館】 |
| (2) 関係委員会委員等の推薦について | 【会長館】 |
| (3) 公立大学図書館概要について | 【会長館】 |
| (4) 本協議会の名称変更について | 【会長館】 |
| (5) 令和7年度以降の会費について | 【会長館、次期会長館】 |
| (6) その他 | |

※協議事項(3)の「公立大学図書館概要について」は、概要を公開ページと加盟館限定ページに分けて置くことが承認されたが、概要を「施設・組織など」と「サービス活動」に分けることや、「加盟館一覧」と「会員名簿」の置き場については、別途協議が必要とした。また、サイト構成についてはHP委員会に委ねることとなった。

※協議事項(4)の「本協議会の名称変更について」は、反対意見が出なかったということで準備を進めることになった。

ウ 第3回拡大役員会

日 時： 令和6年1月31日から2月7日（水）まで（8日間） ※議決は2月13日

開催方法： アンケートフォーム（グーグルフォーム）による承認、不承認等

回 答： 24大学 （会長館を除く25大学のうち）

※以下の設問について、全て承認された。

1. 「概要（施設・組織など）」と「サービス活動」に分ける
2. 「加盟館一覧」（新規作成）をHP（公開ページ）に掲載する

3. 「会員名簿」(新規作成)を HP (加盟館限定ページ)に掲載する
4. 調査項目詳細(概要、サービス活動)について

2. 改革実施小委員会(神戸市外国語大学)

ア 委員館

神戸市外国語大学(会長館)、滋賀県立大学(副会長館)、福島県立医科大学(理事:次期会長館)

大阪公立大学(H P 委員長館)、横浜市立大学(国公私大図協常任幹事館)

イ 会議記録

第1回 7月28日(金) 15:30~ (Zoom によるオンライン会議)

第2回 10月17日(火) 15:30~ (Zoom によるオンライン会議)

ウ 検討内容

(1) 公立大学図書館概要について

- ・加盟館ごとの PDF ファイルから一覧性のある Excel ファイルへの変更
- ・「名簿」・「概要」(施設や職員体制)と「サービス活動」(毎年更新)に分ける
- ・ホームページの構成(サイトマップ)について見なおす

(2) 関係団体への 派遣員推薦について

- ・前年度会長館(愛知県立大学)の提案や加盟館への自薦を促す要請について再確認
- ・関係団体への協力活動見直し要望

(3) 本協議会の名称変更

- ・これまでの経緯、公立大学協会との関係
- ・名称変更(公立大学協会をトル)に向けて必要な手続きと作業スケジュール
- ・公立大学協会の意向

(4) 令和7年度以降の会費について

- ・令和6年度の収支見込み
- ・令和7年度以降の会費徴収額と会則改正

3. H P 委員会(大阪公立大学)

ア 委員館

(ア) 委員長館(ホームページ管理):大阪公立大学

(イ) 委員館:東京都立大学、横浜市立大学、名古屋市立大学

イ 概要

(ア) 活動状況

第2回拡大役員会での検討結果を受け、加盟館概要及び会員名簿の掲載箇所について、令和6年2月29日~3月6日においてメール審議を行った。

(イ) 主な更新内容

2023/04/01 会長就任挨拶

2023/06/20 会報 第54号(令和4年度)

2023/06/29 第1回拡大役員会および第55回総会の開催

2024/03/21 令和5年度「学術情報基盤実態調査」

【加盟館限定ページ】総会・拡大役員会資料の掲載

ウ 統計

Google Analytics 4 による集計

期 間	2023/1/1-2023/12/31	(前年 2022/1/1-2022/12/31)
訪 問 数	4,555 件	(11,357 件)
ページビュー	15,655 ページ	(32,925 ページ)
訪問時の平均滞在時間	3 分 34 秒	(1 分 16 秒)
訪問時平均閲覧ページ数	2.49 ページ	(2.13 ページ)

※2023 年より Google Analytics から Google Analytics 4 の更新に伴い、カウント方法が変更された。(2023 年：Google Analytics 4、2022 年 Google Analytics による)

エ ホームページサーバ管理委託

令和5年4月1日より管理保守委託先が株式会社アトラスから株式会社ソウブン・ドットコムに変更された。

4. 関係委員会

ア 国公立大学図書館協力委員会【横浜市立大学】

1 構成

(1) 委員長館

令和4年度 横浜市立大学 (令和4年8月1日～令和5年7月31日)

令和5年度 早稲田大学 (令和5年8月1日～令和6年7月31日)

(2) 委員館 (*は常任幹事館)

ア 国立大学 *東京大学、*筑波大学、京都大学、名古屋大学

イ 公立大学 東京都立大学、*横浜市立大学、*大阪公立大学

ウ 私立大学 *早稲田大学、*慶應義塾大学、明治学院大学、帝京大学、
中部大学、西南学院大学

2 会議

(1) 協力委員会

ア 第94回国公立大学図書館協力委員会

日 時：令和5年7月24日(月) 14時～16時05分

開催方法：早稲田大学国際会議場第一会議室及び Zoom

議 事：

[報告事項]

・会務報告

・「Maruzen eBook Library」ダウンロード機能停止措置に対する対応について

[協議事項]

- ・専門委員会主査について

大学図書館研究編集委員会、大学図書館著作権検討委員会、シンポジウム企画・運営委員会の主査の交代が承認された。

- ・大学図書館著作権検討委員会運営細則の改定について

現在の委員構成に則しつつ、委員の構成バランスをある程度柔軟に変更できるよう修正した案のとおり承認された。

- ・「図書館相互協力便覧 追録」の今後の対応について

「図書館相互協力便覧 追録」の継続可否について、意見交換を行った。

- ・次期委員長館の選出について

令和5年度委員長館は早稲田大学に決定した。

[懇談事項]

- ・生成系 AI をめぐる各大学の動向について

東京大学、大阪公立大学、早稲田大学の報告があり、意見交換を行った。

イ 第95回国公私立大学図書館協力委員会

日 時：令和5年12月14日（木）13時30分～14時30分

開催方法：Zoom

議 事：

[報告事項]

- ・会務報告

- ・「図書館相互協力便覧追録」の今後の対応について

令和5年度の刊行を最後に追録の刊行を終了することが報告された。

[協議事項]

- ・2022年度決算（案）及び監査報告について

決算及び監査報告が原案どおり承認された。

- ・2023年度予算（案）について

予算案が原案のとおり承認された。

- ・監事館の選出について

委員館から横浜市立大学、委員館以外からお茶の水女子大学が推薦され、承認された。

(2) 常任幹事会・常任幹事館担当者打ち合わせ

ア 2022年度第2回常任幹事館担当者打ち合わせ

日 時：令和5年6月19日（月）13時～14時45分

開催方法：Zoom

議 事：

- ・第94回国公私立大学図書館協力委員会の開催について

- ・専門委員会会計監査について

- ・「図書館相互協力便覧 追録」の今後の対応について

- ・「大学図書館著作権検討委員会運営細則」の改正について

- ・「著作権法の一部を改正する法律」（令和5年6月施行）への今後の対応について
- イ 2022年度第2回常任幹事会
 - 日 時：令和5年7月24日（月）13時～13時12分
 - 開催方法：早稲田大学国際会議場第三会議室及びZoom
 - 議 事：
 - ・第94回国公立大学図書館協力委員会の議事進行について
- ウ 2023年度第1回常任幹事館担当者打ち合わせ
 - 日 時：令和5年11月30日（木）10時～11時
 - 開催方法：Zoom
 - 議 事：
 - ・第95回国公立大学図書館協力委員会の開催について
 - ・令和5年度国立国会図書館長と大学図書館長の懇談会について
 - ・2022年度決算報告及び監査報告書（案）について
 - ・2023年度予算案について
 - ・2023年度監事館候補について
 - ・2023年度大学図書館シンポジウムについて
 - ・「図書館相互協力便覧 追録」の今後の対応について
 - ・文部科学省によるヒアリングについて
- エ 2023年度第1回常任幹事会
 - 日 時：令和5年12月14日（木）11時30分～11時45分
 - 開催方法：Zoom
 - 議 事：
 - ・第95回国公立大学図書館協力委員会の議事進行について
- (3) 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
 - ア 第26回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
 - 日 時：令和5年7月6日（木）13時～15時
 - 開催方法：オンライン
 - 議 事：
 - [報告・協議事項]
 - ・文部科学省からの最近の動向について
 - ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
 - ・これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
 - ・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
 - ・国公立大学図書館協力委員会の最近の動向について
 - ・国立情報学研究所 学術コンテンツ事業について
 - ・国立情報学研究所研究データ基盤（NII RDC）について
 - イ 第27回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
 - 日 時：令和6年2月6日（火）13時～14時25分

開催方法：オンライン

議 事：

[報告・協議事項]

- ・「2030 デジタル・ライブラリー」推進に関する検討会について
- ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
- ・国立情報学研究所学術コンテンツ事業について
- ・国公立大学図書館協力委員会の最近の動向について

(4) 国立国会図書館関係

ア 令和5年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

日 時：令和5年12月14日（木）16時～17時10分

開催方法：Zoom

議 事：

[国立国会図書館報告]

- ・OCRテキスト化とデジタルサービスの新展開 —NDL ラボの研究成果とそのオープン化を中心に—
(国立国会図書館電子情報部電子情報企画課 青池 亨氏)

[大学図書館報告]

- ・デジタルアーカイブの機能高度化の実践—東京大学附属図書館におけるテキストデータの活用—
(東京大学附属図書館事務部長 大山 努氏)
- ・慶應義塾大学メディアセンター・デジタルコレクションにおけるテキストデータ付与の試み
(慶應義塾大学メディアセンター本部事務長 関 秀行氏)

イ 国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会【愛知県立大学】

1 構成

主 査	鈴木 努(早稲田大)
事務局員	稲葉 直也(早稲田大)
副 主 査	斎藤 未夏(東京大)
委 員	佐藤 康之(慶應義塾大)
委 員	佐藤 義則(東北学院大)
委 員	鈴木 修二(千葉大)
委 員	高木 晃子(千葉大)
委 員	阪野 康弘(愛知県立大)
委 員	弥栄 和彦(北九州市立大)
委 員	村井 麻衣子(筑波大)

2 改正著作権法(2021年6月2日公布)「図書館関係の権利制限規定の見直し」関連

- (1)国立国会図書館による絶版等資料のインターネット送信に関する対応
- ・資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会への参加(7/27)

- ・ 出版社・著作者向けデジタル化資料送信サービスに関する説明会への参加(10/13)
- (2)図書館等による図書館資料のメール送信等に関する対応
- ・ 図書館等公衆送信サービス関係者協議会への参加
 - 全体会(5/25)、ガイドライン分科会(5/17)、事務処理スキーム分科会(5/18)、
 - ・ 図書館公衆送信打合せ(図書館関係団体間の定例打合せ)への参加
 - (4/5、4/19、5/10、5/24、5/31、6/21、7/13、9/20、10/18、11/15、12/14、1/17、3/22)
 - ・ 日本図書館協会(JLA)発行の特定図書館等研修ブックレットへの協力
 - JLA Booklet No.14『図書館等公衆送信サービスを始めるために－新著作権制度と実務』(10/24 発売)について、JLA からの目次確認依頼(7 月)及び「第 3 章 ガイドライン・事務処理スキーム」の解説の校正依頼(8 月)に対応。
 - ・ 特定図書館参加届出フォーム案の確認依頼
 - 図書館等公衆送信補償金管理協会(SARLIB)から国立国会図書館を通じて確認依頼があり、委員会内で意見集約し回答(10/11)。
 - ・ 実施要領及び SARLIB からの補償金請求方法についての確認依頼
 - 図書館等公衆送信補償金管理協会(SARLIB)から国立国会図書館を通じて確認依頼があり、委員会内で意見集約し回答(11/13)。
 - ・ SARLIB との請求書関連の打合せ(2/7)
 - ・ 会員館・加盟館に対する講演・周知等
 - 日本医学図書館協会分科会に講師派遣(9/22)
 - 大学図書館職員短期研修に講師派遣(10/19)
 - 改正著作権法施行に合わせて 6/1 時点での関連情報をメール周知(6/2)
- 3 著作権最新動向調査
- 委員の分担により以下の会議をオンラインで傍聴しメモを共有。
- ・ 文化審議会著作権分科会(6/30、3/19)
 - ・ 文化審議会著作権分科会法制度小委員会(7/26、9/5、10/16、11/20、12/20、1/15、2/29)
 - ・ 文化審議会著作権分科会政策小委員会(11/17、12/22、1/23、2/6、2/28、3/13)
- 4 委員会等の開催
- (1)第 1 回大学図書館著作権検討委員会
- 日時： 2023 年 6 月 29 日(木) 午後 3 時 30 分から午後 5 時まで
- 場所： オンライン(Zoom)
- 内容： 2022 年度活動及び会計報告、2023 年度活動計画及び予算案など
- (2)オンラインミーティング
- 改正著作権法への対応等に関する情報共有・意見交換のため、4～6 月は原則週 1 回、7 月以降は月 1～2 回のオンラインミーティングを実施(3 月 25 日までに 18 回実施)。
- 5 大学図書館シンポジウムの開催
- 国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会との共催によりオンラインにて開催

日 時： 2024 年 1 月 22 日(月) 13:30～16:30

テーマ： 著作権法と大学図書館～令和 3 年の著作権法改正を中心に～

6 関係団体との懇談等

- ・ 学術著作権協会との懇談に参加(12/18)
- ・ 第 27 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協議推進会議への参加(2/6)
- ・ 第 2 回国立国会図書館資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会への参加(2/29)

ウ 国公立大学図書館協力委員会「大学図書館研究」編集委員会【福井県立大学】

1 委員名 (2023 年 11 月 6 日現在)

	主 査	細川 聖二	(九州大学)
	事 務 局	斎藤 未夏	(東京大学)
	事 務 局	佐藤 千春	(東京大学)
	委 員	若山 勇人	(筑波大学)
	竹内 茉莉子	(千葉大学)	
	田中 亜希子	(新潟大学)	
	河野 明子	(東京都立産業技術大学院大学)	
	宮川 雄史	(福井県立大学)	
	浅尾 千夏子	(慶應義塾大学)	
	荒井 健	(明治大学)	
	小川 渡	(早稲田大学)	
	吉場 千絵	(神奈川大学)	
	村上 孝弘	(龍谷大学)	
	伊藤 幸江	(関西学院大学)	
出版チーム	上野 耕平	(電気通信大学)	
	中村 智晴	(九州大学)	
	伊藤 民雄	(実践女子大学・実践女子短期大学)	

2 活動状況

○第 1 回委員会

日 時：2023 年 6 月 8 日(木) 14:00～16:00

会 場：東京大学総合図書館ならびに Zoom によるオンライン会議

※東京大学総合図書館見学会 (16:00～17:00)

内 容：

1. 報告事項

- ・ 2022 年度大学図書館研究編集委員会会計報告について
- ・ 2022 年度刊行状況について
- ・ 「大学図書館研究」の編集発行体制について
- ・ 編集及び査読作業について

2. 協議事項

- ・ 2023 年度大学図書館研究編集委員会事業計画（案）について
- ・ 第 124 号の編集作業の分担について
- ・ 第 125 号以降の企画について

○臨時委員会

日 時：2023 年 9 月 15 日（金）15:00～16:30

会 場：東京大学総合図書館ならびに Zoom によるオンライン会議

内 容：講演「査読のポイント、心得」

南山大学人文学部人類文化学科 浅石卓真 准教授

（日本図書館情報学会 常任理事（編集委員長））

○第 2 回委員会

日 時：2023 年 11 月 6 日（月）14:00～16:00

会 場：九州大学附属図書館中央図書館 4 階会議室

※九州大学中央図書館見学会（16:00～16:50）

内 容：

(1)報告事項

- ・ 2023 年度進捗状況について
- ・ 国公立大学図書館協力委員会における活動報告について

(2)協議事項

- ・ 第 126 号以降の企画案について
- ・ 第 125 号の編集作業の分担について

(3)その他

- ・ 2024 年度以降の開催方法について
- 対面＋オンラインのハイブリッド

エ 国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会【東京都立大学】

1 構成（2023 年 4 月 1 日現在）

<シンポジウム企画・運営委員会委員>

主査 笹渕 洋子 早稲田大学図書館事務副部長兼総務課長兼高田早苗記念研究図書館担当課長

武内八重子 千葉大学附属図書館利用支援企画課副課長

久保田壮活 東京大学附属図書館総務課長

河野江津子 慶應義塾大学理工学メディアセンター事務長

安藤 和実 東京都立大学学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係

<日本図書館協会大学図書館部会個人会員委員>

逸村 裕 元筑波大学図書館情報メディア系教授

上村 順一 琉球大学附属図書館情報サービス課長

小山 憲司 中央大学文学部教授

2 活動状況

昨年に引き続き、シンポジウム企画・運営委員会、大学図書館著作権検討委員会、日本図書館

協会大学図書館部会の共催によるシンポジウムを開催した。当日は 605 名が参加した。

テーマ：「著作権法と大学図書館 ～令和 3 年の著作権法改正を中心に～」

日時：2024 年 1 月 22 日（月）13:30-16:00

開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン配信

対象：図書館関係者（国公私立大学図書館協力委員会加盟館に限定しない）

プログラム：

(1) 開会挨拶

ローリー ゲイ氏／国公私立大学図書館協力委員会委員長館 早稲田大学図書館長

(2) キーノートスピーチ

「著作権法第 31 条改正の意図とその実現、今後の大学図書館サービスに与える影響」

講演者：竹内 比呂也氏／千葉大学副学長、附属図書館長、アカデミックリンクセンター長、大学院人文科学研究院教授

(3) 各論 1 「国立国会図書館におけるデジタル化資料提供の取組み」

講演者：松崎 宏樹氏／国立国会図書館利用者サービス部サービス企画課課長補佐

(4) 各論 2-1 「『図書館等公衆送信サービス』に望むこと～補償金の側面で～」

講演者：佐藤 康之氏／慶應義塾大学三田メディアセンター事務長

(5) 各論 2-2 「『図書館等公衆送信サービス』に望むこと」

講演者：鈴木 修二氏／千葉大学附属図書館事務部長

(6) 質疑・応答

(7) 閉会挨拶

小山 憲司氏／日本図書館協会大学図書館部会個人会員委員、中央大学文学部教授

オ 国公私立大学図書館協力委員会 Web サイト運用チーム【東京都立大学】

1 構成（2023 年 8 月 1 日現在）

主査 加藤さつき 筑波大学学術情報部情報企画課長

小川夏代子 東京大学附属図書館総務課企画渉外チーム係長

瀧上じゅん 東京都立大学学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係

長崎 晃一 明治学院大学図書館資料管理課主任

2 活動状況

(1) メンテナンス作業

・ 2023 年 6 月 26 日 18:00－23:00

SSL サーバ証明書更新（新有効期限: 2024/07/05）

(2) 主査の交代（2023 年 8 月 1 日付）

退任：笹渕 洋子（早稲田大学図書館事務副部長兼総務課長兼高田早苗記念研究図書館担当課長）

新任：加藤さつき（筑波大学学術情報部情報企画課長）

・ 主査任期は、8 月 1 日～翌 7 月 31 日

・ 2024 年度主査ローテーション予定は、私立（慶應義塾大学）

(3)国公立大学図書館協力委員会 Web サイトの各アカウントのパスワード変更

(2023 年 11 月 13 日)

(4)各委員会との相談・対応

「2023 年度大学図書館シンポジウム」の講演資料及び映像の公開方法について、大学図書館シンポジウム企画・運営委員会から相談があり、2024 年 2 月 14 日より協力委員会 Web ページにおいて、公開を開始した。

(5)2024 年度の委託保守契約更新 (2024 年 3 月)

2024 年度の「委託保守契約書」(2024 年 4 月から 2025 年 3 月のサーバ年間使用 (検証サーバ含む)、ドメイン年間利用、メールボックス利用、SSL サーバ証明書年間利用ならびに委託保守契約)の内容確認後、契約更新をした。

カ. 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 報告 【大阪公立大学】

ア 会員館 (大学, 大学共同利用機関, 省庁大学校等の図書館) 563 館

国立 87 館 公立 81 館 私立 379 館 その他 16 館 (2024 年 3 月 31 日現在)

イ 運営体制

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

JUSTICE 運営委員会 委員 17 名 (会員館から選出)

交渉作業部会・調査作業部会・広報作業部会 OA 推進作業部会 委員 39 名 協力員 4 名
(会員館から選出)

JUSTICE 事務局 専任職員 3 名 (会員館から出向)

ウ 会議開催状況

①総会

・通常総会

日時: 2024 年 3 月 1 日~8 日 (オンライン会議システム)

②運営委員会

・第 1 回 2023 年 6 月 7 日 (NII 及びオンライン会議)

・第 2 回 2023 年 11 月 29 日 (NII 及びオンライン会議)

・第 3 回 2024 年 2 月 8 日 (NII 及びオンライン会議)

・第 4 回 2024 年 3 月 15 日 (NII 及びオンライン会議)

エ 活動内容

① 出版社交渉の実施

② 契約状況調査 (2023 年度)

実施期間 2023 年 5 月 10 日~6 月 30 日 調査対象 560 館 回答館数 534 館

③ Elsevier 社転換契約の交渉本格化に向けた説明会

日程 2023 年 4 月 27 日(オンライン開催)

参加機関数: 163 機関、拡大交渉参加機関: 57 機関

④ Elsevier 社転換契約パイロット提案への参加を新たに検討する会員館に向けた提案内容説明会

日程 2023 年 8 月 21 日 (オンライン開催)

参加機関数：106 機関、関心表明機関：140 機関(拡大交渉参加機関を含む)

⑤ 版元提案説明会の開催

日程 2023 年 9 月 6 日、7 日

場所 一橋大学一橋講堂中会議場

参加機関・参加者数 252 館 435 名、参加版元 26 社 152 名

⑥ 提案準備説明会の開催

⑦ OA への対応

⑧ 電子リソースのバックファイル・電子コレクション等の拡充

⑨ 電子リソースの管理システムの共同利用

⑩ 電子リソースの長期保存とアクセス保証

⑪ 研修会・勉強会の開催

○JUSTICE 電子資料契約実務研修会

開催日 2023 年 7 月 21 日

会 場 オンライン開催

内 容 第一部 出版社・代理店による講演

第二部 「版元提案書の読み方入門」と事例報告

参加者 574 名

⑫『電子資料契約実務必携』改訂版の公開

⑬ 会員向け広報誌『jusmine』の発行

No.47～No.49

⑭ 国際会議への派遣

・国際図書館コンソーシアム連合 ICOLC2023 年春季会合（米国）

2023 年 4 月 16 日～19 日

・国際図書館コンソーシアム連合 ICOLC2023 年秋季会合（欧州）

2023 年 10 月 25 日～28 日

・16th Berlin Open Access Conference

2023 年 6 月 6 日～7 日

詳細は大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）ウェブサイト掲載の

『2023 年度大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）活動報告』を参照のこと。

(<https://contents.nii.ac.jp/justice/overview>)

キ これからの学術情報システム構築検討委員会【札幌医科大学】

1 委員

委員長	小山 憲司	(中央大学)
委 員	綾部 輝幸	(東京大学)
	次良丸 章	(名古屋大学)
	松本 ゆかり	(札幌医科大学)
	栗谷 禎子	(公立ほこだて未来大学)

竹澤 紀子	(早稲田大学)
安達 匠	(國學院大学)
飯野 勝則	(佛教大学)
鹿田 昌司	(近畿大学)
大向 一輝	(東京大学)
塩崎 亮	(聖学院大学)
児玉 関	(大妻女子大学)
福島 幸宏	(慶應義塾大学)
吉田 幸苗	(国立情報学研究所)
林 豊	(国立情報学研究所)

2 委員会開催状況

第 36 回委員会	令和 5 年 6 月 23 日 (金) オンライン開催
第 37 回委員会	令和 5 年 10 月 4 日 (水) ハイブリッド開催
第 38 回委員会	令和 5 年 12 月 6 日 (水) オンライン開催
第 39 回委員会	令和 6 年 1 月 24 日 (水) オンライン開催

3 活動内容

- (1)令和 5 年 4 月 1 日から「ユーザーグループ」の本運用を開始し、図書館総合展において SNS イベントを開催した。
- (2)NII の学術情報基盤オープンフォーラムおよび図書館総合展において委員会の活動内容や今後の方向性について講演した。
- (3)令和 5 年 10 月 30 日に、電子リソースデータ共有サービス「電子ブックメタデータ (国内)」プロトタイプを公開した。
- (4)コーディングマニュアル NCR2018 対応版の作成およびパブリックコメントの募集を行った。
- (5)JUSTICE および NII と連携し、令和 5 年 12 月から「タイトルリスト (JUSTICE)」のテスト公開を開始、令和 6 年 5 月に正式公開した。
- (6)令和 6 年 2 月に、「これからの学術情報システムの在り方について (2024)」を策定した。

ク オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) 【岡山県立大学】

1 運営体制について

○2023 年度運営委員会委員

鶴澤 和往	(北海道大学)
高橋 菜奈子	(東京学芸大学)
野中 雄司	(富山大学)
富岡 達治	(京都大学)
杉田 茂樹	(京都大学)【運営委員会委員長】
鈴木 雅子	(神戸大学)
結城 憲司	(九州大学)
田中 智子	(岡山県立大学)

鈴木 一巳	(青山学院大学)
折戸 晶子	(明治大学)
佐藤 翔	(同志社大学)
加川 みどり	(神戸松蔭女子学院大学)
林 正治	(国立情報学研究所)
吉田 幸苗	(国立情報学研究所)

運営委員の下には各種事業（研修・広報等）の具体的な活動の中心となる作業部会と呼ばれる組織があり、会員機関に所属する職員が、作業部会員となり以下の活動を行っている。

- ・コミュニティ・グループ… 広報・普及作業部会、イベント運営作業部会
- ・コンテンツ・グループ… コンテンツ流通促進作業部会、研究データ作業部会
- ・システム・グループ… JAIRO Cloud 作業部会、システム開発・連携作業部会、次期 JC 移行タスクフォース

○監事

2022 年度（任期 2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日）

東京海洋大学

福岡女子大学

2023 年度（任期 2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）

東京海洋大学

前橋工科大学

2 オープンアクセスリポジトリ推進協会の概要について

オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR: Japan Consortium for Open Access Repository）は、リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的として 2016 年 7 月に設立された。

【オープンアクセスリポジトリ推進協会の活動方針】

2022 年から 2026 年の 5 年間に於いて、以下の 3 点を重点活動項目として、多様な会員機関の協働により、会員機関のコンテンツの充実支援、システムの整備・運用や我が国におけるオープンアクセス及びオープンサイエンスの推進をはかっていく。

- ① 会員機関相互の情報・ノウハウ共有の強化と人材育成 <コミュニティ>
- ② 会員機関が公開するコンテンツの多様化と利活用 <コンテンツ>
- ③ リポジトリシステムの維持・発展の促進 <システム>

3 JPCOAR 会員機関参加状況【2023 年 11 月 30 日現在】について

745 機関（うち公立大学 80 大学）

4 運営委員会の活動状況

○第 20 回運営委員会 2023 年 6 月 9 日（金）

1. 2023 年度運営委員会・作業部会（TF）・事務局の体制について
2. オープンアクセス推進検討タスクフォース設置に関する申合せについて
3. 2023 年度予算及び作業部会等の活動計画について

4. CoCOAR Web マガジン化の進捗について
 5. JPCOAR ロゴマークガイドラインおよび広報について
 6. JPCOAR リーフレットの改訂について
 7. 2023 年図書館総合展（10 月）フォーラム出展について
 8. 2022 年度決算および監査報告について
 9. 報告事項
 - ・ SPARC Japan へのセミナー企画メンバーの推薦について
 - ・ 大学図書館短期研修講師の推薦について
 - ・ 次期 JAIRO Cloud(WEKO3)の本番移行について
 - ・ JAIRO Cloud ロゴの商標登録について
 - ・ メール審議結果及び会員参加状況について
- 第 21 回運営委員会 2023 年 6 月 20 日（火）
1. 【A グループ】 JAIRO Cloud（WEKO3）移行環境確認について
 2. その他
- 第 22 回運営委員会 2023 年 10 月 18 日（水）
1. 次期 JAIRO Cloud(WEKO3)の本番移行について
 2. JAIRO Cloud の新ロゴマークのリリースについて
 3. 次期 JAIRO Cloud 移行タスクフォースから JAIRO Cloud 作業部会への切り替えについて
 4. JAIRO Cloud(WEKO3)における JPCOAR スキーマ Version 2.0 対応について
 5. SCPJ の今後の運用方針について
 6. 「2025 年度新規公募分からの学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けて」文部科学省との協議
 7. 作業部会員・タスクフォースメンバーの追加
 8. 各作業部会・TF 活動中間報告
 9. 問合せ対応におけるチャットボット等の活用について
 10. 図書館連携・協力室への出向について
 11. その他
 - ・ 図書館総合展について
 - ・ Global Summit on Diamond Open Access への参加
 - ・ COAR Foundation の設立と事務所移転について
 12. 書面報告
 - ・ 2023 年度 JPCOAR 予算執行状況
 - ・ 特別 JC サービスに係る申し合わせについて
- 第 23 回運営委員会 2023 年 11 月 29 日（水）・12 月 1 日（金）
1. 会員機関向けアンケートの実施の背景
 2. 会員機関向けアンケートの実施の結果
 3. その他
- 第 24 回運営委員会 2024 年 2 月 1 日（木）

1. JAIRO Cloud(WEKO3)のアップデートについて（報告）
2. 各作業部会・TF 活動報告（報告）
3. JAIRO Cloud 共同運営 TF 活動報告及び JAIRO Cloud 運営部会の提案（報告・協議）
4. 2023 年度 JPCOAR 予算執行状況（協議）
5. 会長校について（協議）
 - ・会長概念の確認
 - ・2024 年度会長校
 - ・2025 年度以降の会長校
6. 2023 年度 JPCOAR 総会議事について（協議）
 - ・2024 年度予算
 - ・2024 年度運営委員
 - ・JAIRO Cloud 共同運営検討タスクフォース報告
7. 2024 年度 NII へのオープンアクセスリポジトリ推進協会への活動支援について（協議）
8. その他
 - ・作業部会・TF の継続確認
 - ・補正予算に関する情報交換
 - ・COAR 理事会メンバーの選出（2025 年～）
 - ・COAR 総会（2024 年 6 月 3 日～6 月 6 日）派遣
 - ・GakuninRDM 等と JAIRO Cloud(WEKO3)の連携計画について

○総会 2024 年 3 月 13 日（水）

ケ 日本図書館協会代議員総会（施設会員）報告【名古屋市立大学】

2023 年度 第 1 回 日本図書館協会 代議員総会

日 時 : 2023 年 6 月 15 日（木） 13:00～16:00

会 場 : 一橋大学 一橋講堂中会議場

Zoom によるオンライン参加併用のハイブリッド型開催

場 所 : 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2F

[議 題]

第 1 号議事 2023-2024 年度理事・監事の選出について

第 2 号議事 2022 年度公益社団法人日本図書館協会決算並びに監査報告について

[報 告]

報告 1 2022 年度公益社団法人日本図書館協会事業報告について

報告 2 代議員定数等検討員会報告について

報告 3 代議員定数等検討委員会の期間延長について

報告 4 第 109 回全国図書館大会岩手大会について

報告 5 その他

2023 年度 第 2 回 日本図書館協会 代議員総会

日 時 : 2024 年 3 月 14 日（木） 13:00～17:00

開 場 : 日本図書館協会会館 2 階研修室

※Zoom による視聴可

場 所 : 東京都中央区新川 1-11-14

[議 題]

第 1 号議案 公益社団法人日本図書館協会代議員総会運営規程の改正について

[報 告]

報告 1 2024 年度公益社団法人日本図書館協会事業計画について

報告 2 2024 年度公益社団法人日本図書館協会予算について

報告 3 代議員定数等検討委員会報告及び定款等改正の手続きについて

報告 4 その他

コ 日本図書館協会大学図書館部会【東京都立大学】

1 構成 (2023 年 8 月 1 日現在)

部会長 ローリー ゲイ (早稲田大学図書館長)

<施設会員委員>

久保田壮活 東京大学附属図書館総務課長

加藤さつき 筑波大学学術情報部情報企画課長

石井 直美 横浜市立大学学術情報センター学術情報担当係長

白濱 博人 東京都立大学学術情報基盤センター事務室事務長

笹渕 洋子 早稲田大学図書館事務副部長兼総務課長兼高田早苗記念研究図書館担当課長

関口 素子 慶應義塾大学メディアセンター本部総務担当課長

<個人会員委員>

逸村 裕 元筑波大学図書館情報メディア系教授

上村 順一 琉球大学附属図書館情報サービス課長

小山 憲司 中央大学文学部教授

2 活動状況

(1)会議

○2023 年度第 1 回部会委員会 (メール会議)

期 間: 2023 年 5 月 15 日~5 月 19 日

議 題:

- ・ 2022 年度大学図書館部会事業報告及び経費収支報告について
- ・ 2023 年度大学図書館部会事業計画について
- ・ 2023-2024 年度一般理事 B 候補者の推薦について
- ・ 2023 年度大学図書館部会総会の開催通知案について

○2023 年度部会総会 (書面決議会議)

期 間: 2023 年 5 月 25 日~6 月 2 日

議 題:

- ・報告事項
 - ・2022 年度大学図書館部会事業報告及び経費収支報告について
 - ・2023 年度大学図書館部会事業計画及び予算調書について
- ・協議事項
 - ・2023-2024 年度一般理事 B 候補者の推薦について

○部会委員会（メール会議）

期 間：2023 年 11 月 22 日～12 月 1 日

議 題：大学図書館部会 2024 年度事業計画及び予算調書について

(2)事業

○第 109 回全国図書館大会岩手大会第 2 分科会への協力

日 時：2023 年 11 月 17 日

テーマ：オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方

開催方法：対面開催

○2023 年度大学図書館シンポジウム（大学図書館研究集会）

日 時：2024 年 1 月 22 日

会 場：オンラインによる開催

テーマ：「著作権法と大学図書館～令和 3 年の著作権法改正を中心に～」

運 営：国公私立大学図書館協力委員会（シンポジウム企画・運営委員会）

大学図書館著作権検討委員会と共催

(3)その他

- ・大学図書館部会長、理事の交代（2023 年 8 月 1 日付）

大学図書館部会長

退任：堀田 貴嗣 （東京都立大学学術情報基盤センター長）

新任：ローリー ゲイ（早稲田大学図書館長）

理事

退任：白濱 博人（東京都立大学学術情報基盤センター事務室事務長）

新任：本木 正人（早稲田大学図書館事務部長）

- ・2022-2025 年度施設代議員（第 2 区 大学図書館）

大隅 典子 （東北大学附属図書館）

佐久間淳一 （名古屋大学附属図書館）

永盛 克也 （京都大学附属図書館）

湯川 泰 （名古屋市立大学総合情報センター）

助川 哲也 （明治学院大学図書館）

木村 友久 （帝京大学メディアライブラリーセンター）

足達 義則 （中部大学附属三浦記念図書館）

- ・代議員定数等検討委員会委員（大学図書館部会）

加藤さつき（筑波大学附属図書館）

※委員会の設置期間は当初 2023 年 3 月 31 日までだったが、2023 年 9 月 30 日まで延長の旨、

理事会で決定された。

3 地区協議会活動

ア 北海道・東北地区【山形県立米沢栄養大学】

○令和5年度公立大学協会図書館協議会北海道・東北地区館会議

日 時：令和5年10月2日（月）～10月13日（金）

場 所：書面会議

参加館数：18 館

1 協議事項 なし

2 承合事項

他館から取り寄せた文献複写料金の公費（研究費等）での支払い方法について
外国雑誌の予算および支払いについて
申請書類等の押印の見直しについて
閲覧席のコンセント増設事例について
OPAC 端末の台数削減事例について
夜間開館の際の安全対策について

イ 関東・甲信越地区【千葉県立保健医療大学】

○令和5年度公立大学協会図書館協議会関東・甲信越地区協議会

日 時：令和5年9月20日（水）

開催方法：メール審議

1 協議事項

令和8年度公立大学協会図書館協議会会長館について
令和7-8年度関東・甲信越地区代表館について

2 承合事項

教員の個人研究費にて購入した図書について
NII データの所蔵削除方法について
NDC10 版（9 版）への移行時の問題点と対応策について
コロナ前後の利用状況の変化について
電子ジャーナルやフルテキストデータベースの契約維持について
外国雑誌資料の2023年購読対応について電子ブックの導入状況について

ウ 東海・北陸地区【愛知県立芸術大学】

○令和5年度公立大学協会図書館協議会 東海・北陸地区会議

日 時：令和5年10月24日（火）10時30分～11時20分

会 場：Microsoft Teams による Web 開催

参加館数：16 館

1 報告事項

今年度の事業進捗について（改革実施小委員会、著作権検討委員会）

2 協議事項

東海・北陸地区の役員ローテーションについて

3 情報交換

エ 近畿地区【奈良県立大学】

○令和5年度公立大学協会図書館協議会 近畿地区協議会総会

日 時：令和5年10月25日（水）15時～15時35分

開催方法：ZoomによるWeb会議

参加館数：13館

1 協議事項

令和6年度以降の役員館・役員体制について

令和6年度近畿地区協議会事業計画（案）について

2 報告事項、その他

令和5年度「大学図書館近畿イニシアティブ」の活動状況について

改革実施小委員会における検討状況について

京都市立芸術大学の新キャンパス移転について

オ 中国・四国地区【福山市立大学】

○第29回公立大学協会図書館協議会中国・四国地区協議会総会

日 時：2023年（令和5年）4月21日（金）10:00～11:30

開催方法：Webexによるオンライン開催

参加者数：16大学 28名

1 報告事項

① 令和4年度事業報告及び令和4年度決算報告について

② 令和4年度監査報告について

2 協議事項

令和5年度会費について

令和5年度事業計画（案）及び令和5年度予算（案）について

公大図協中国・四国地区割り当ての役員ローテーションの調整および中国・四国大学図書館協議会公立大学割り当ての役員ローテーションの調整

督促をしても返却されない図書の対応について

電子ジャーナル（洋）の契約について

海外の雑誌・データベース・電子ジャーナル・新聞について

洋雑誌の納入期限について

○令和5年度公立大学協会図書館協議会中国・四国地区協議会研修会

日 時：2023年（令和5年）9月8日（金）13:00～16:00

場 所：福山市立大学

研修テーマ：利用促進につなげる図書館広報

講 師：株式会社サンメディア e-Port カンパニー 内山佳代子氏
参加者数：10 大学 18 名

カ 九州地区【宮崎県立看護大学】

○令和 5 年度 第 74 回九州地区大学図書館協議会 公立大学部会

日 時：令和 5 年 4 月 14 日（金）～ 4 月 28 日（金）

開催方法：メール審議

当番大学：大分県立芸術文化短期大学

参 加 館：15 館（欠席館なし）

内 容：

1 協議題 （なし）

2 承合事項

電子書籍の導入状況について（北九州学術研究都市学術情報センター）

館内 PC の在り方等について（北九州学術研究都市学術情報センター）

図書館等公衆送信サービスへの対応について（大分県立芸術文化短期大学）

洋雑誌価格高騰への対応について（大分県立芸術文化短期大学）

3 次期当番館等選出

4 職員研修

1. 大学図書館職員短期研修について

主催機関：東京大学総合図書館

日 時：2023 年 10 月 17 日（火）～10 月 20 日（金）

会 場：東京大学総合図書館 3 階 大会議室

※グループ討議は 3 階大会議室および中会議室

〈2023 年度大学図書館職員短期研修カリキュラム〉

日程	時間	研修内容など
10/17 (火)	9:30～9:45	開講式
	9:45～11:00	大学図書館の現状と課題 大山 努（東京大学附属図書館事務部長）
	11:15～12:30	大学図書館職員のスキルアップ法 中村 健（大阪公立大学学術情報課図書情報担当係長）
	13:30～16:20	効果的なグループワークのデザインとファシリテーション 栗田 佳代子（東京大学総合教育研究センター副センター長・教授）
	16:30～17:15	海外研修経験から見た大学図書館 富田 千夏（琉球大学附属図書館情報サービス課保存公開係長）
10/18 (水)	9:30～11:00	東京大学総合図書館見学
	11:15～12:30	電子コンテンツ導入・提供の現状と課題 井口 幸（法政大学図書館事務部多摩事務課長）
	13:30～14:45	学術コミュニケーションの動向 岩井 雅史（信州大学附属図書館副課長／情報システム・学術資料（雑誌）グループリーダー）
	14:55～17:30	グループ討議
10/19 (木)	9:30～10:45	情報リテラシー教育支援の現状-東北大学附属図書館の事例- 堀野 陽子（東北大学附属図書館工学分館整理・運用係長）
	11:00～12:15	大学図書館における目録実務とその周辺 川本 真梨子（慶應義塾大学メディアセンター本部 リソースマネジメント担当）
	13:15～14:30	大学図書館における資料保存 小島 浩之（東京大学経済学部資料室講師）
	14:45～16:00	図書館公衆送信サービスの開始と今後の展望 高木 晃子（千葉大学附属図書館利用支援企画課アカデミック・リンクグループ図書館系職員）
	16:15～17:30	グループ討議
10/20 (金)	9:30～10:45	グループ討議・成果報告の準備(リハーサル)
	11:00～11:45	国立情報学研究所の学術コンテンツ事業紹介 吉田 早苗（国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長）
	12:45～14:30	グループ討議・成果報告

	14:30～15:00	グループ討議の講評・講評者との意見交換 久保田 壮活（東京大学附属図書館総務課長）
	15:15～16:45	グループ討議・成果報告の振り返り
	16:45～17:00	閉講式

2. 2023 年度大学図書館職員短期研修参加報告

北九州市立大学図書館
情報化推進課 島 春樹

2023 年 10 月 17 日から 10 月 20 日までの 4 日間、東京大学総合図書館で開催された、大学図書館職員短期研修に参加した。本研修の目的は、「大学図書館等の活動を活性化するため、大学図書館等の職員が、今後の図書館の企画・活動を担う要員となる上で必要な、図書館業務の基礎知識・最新知識を習得する。」ことと掲げられており、到達目標は「国内外の大学図書館等における最新の動向や事例を学び、図書館業務の推進および改善について、主体的に考えることができるようになる。」とされている。計 12 コマの講義を受講した他、事前課題を基にしたグループ討議とその成果発表を行った。この報告では、様々な講習の中で特に印象に残った講義とグループ討議について紹介したい。

講義の内容としては、大学の現状と課題から大学図書館職員のスキルアップ法、電子コンテンツ導入・提供の現状と課題、学術コミュニケーションの動向、情報リテラシー教育支援の現状、大学図書館における目録実務、資料保存、図書館等公衆送信サービスの開始と今後の展望など、図書館司書としての知識の再確認および向上、図書館周辺の最新の動向について学んだ。特に印象に残った講義は『効果的なグループワークのデザインとファシリテーション』である。Zoom や Slido といったオンライン研修や講習を行う際のツールについての効果的な活用法や、学生が主体的に学んでいくためのモチベーションの喚起や維持の重要性とその方法について学んだ。講義の表題と異なった着眼点とはなるが、モチベーションを喚起・維持するためのモデルとして紹介された ARCS モデルは、意識することで図書館での学生向け講習会などを今よりも更に効果的なものにできると感じた。

グループ討議では、『危機管理の一環として、大学図書館の防災計画を考える』というテーマについて議論を行った。私が所属した班では「図書館職員だけではなく、利用者を含めた防災意識を高める要素を図書館に散りばめ、日ごろから災害に対する意識を持ち続けられるようにすることが重要である」とそれぞれが所属する大学図書館の現状の課題から導いた。発表では議論の中から得られた防災意識を高める要素を紹介した。早速、自館でも防災の揭示や企画などを取り入れていきたい。

今回の研修には国・公・私と規模の異なる様々な図書館から大学図書館職員が参加しており、講義外では多くの情報交換が行えた。グループ討議の講評の際、国立情報学研究所の吉田 幸苗氏から「各大学で個別に問題対応していくにはヒューマンリソース的に難しい。横のつながりを大切に、みんなでアクションしていかなければならない」といったお話をいただいた。普段、面と向かって交流する機会が少ない他大学の司書と親交を深める場は大変貴重であり、今後なにか問題に直面した際に頼れる心強い繋がりが持てたと感じている。

最後に、貴重な機会を与えていただいた公立大学協会図書館協議会に深く感謝申し上げるととも

に、研修を主催していただいた東京大学附属図書館、京都大学附属図書館、国立情報学研究所のご担当の方々、そして長期に渡る研修に快く送り出してくれた職場の上司ならびに同僚に心から感謝いたします。